

予 算 要 求 資 料

令和4年度予算 支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：警察本部費

事業名	感染症対策強化事業費
------------	-------------------

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 警務部 厚生課 電話番号：058-271-2424 (内 2761)

E-mail： c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,677 千円 (前年度予算額：27,444 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	27,444	0	0	0	0	0	0	0	27,444
要求額	3,677	0	0	0	0	0	0	0	3,677
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く状況において、警察職員が県民の生命、身体、財産を全力で守る警察活動に従事するなか、職務を遂行するためには感染症の感染拡大を予防しつつ、警察活動に間隙を生じさせる事態を回避するため、引き続き警察職員に対する感染防止対策を執る必要がある。

(2) 事業内容

- ・警察施設の入り口等に設置する手指消毒用アルコールの整備
- ・感染が確認された場合の施設の消毒作業用使い捨てエプロン及びゴーグル等の整備

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県警察職員の健康管理のため県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

有り【職員厚生費】

本事業は新型コロナウイルスの感染予防対策であり継続事業である「職員厚生費」と事業内容が重複するものではない。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費 (消耗品)	3,677	手指消毒用アルコール、使い捨てエプロン、ゴーグル、環境用殺菌消毒剤、ペーパータオル、プラスチック手袋
合計	3,677	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

新型コロナウイルス感染症緊急経済対策

第2章-I-1) マスク・消毒液等の確保

自衛隊・警察・収容施設における新型コロナウイルス感染症対策の強化
(防衛省、警察庁、法務省)

(2) 国・他県の状況

内閣府は令和2年4月7日に新型コロナウイルス感染症緊急経済対策を閣議決定している。

(3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルスの感染拡大傾向が続く状況であれば、本施策の運用状況をみながら増強整備等を検討する可能性がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

県民の生命、身体及び財産の保護を責務とする警察活動を維持するための施策であり、県が主体となることは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
警察活動を一層強力に推進するため、職員の感染症対策を積極的に推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
①						%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

職員の感染症対策であり、指標を設定することはできない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	マスク、手指消毒薬、パーティション等の資機材を整備し、警察活動の維持及び県民への感染防止に努めた。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	新型コロナウイルスの変異株に対応しつつ、治安の維持に努める必要がある。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	感染防止に対応できており、今後も感染予防体制の強化等を図る必要がある。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	必要数の精査等を行い、経費の削減を行っている。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルスの変異株や未知なるウイルスに備え、事業を継続しつつ、需要のひっ迫に備え、一定の資機材を備蓄する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ○感染症予防対策の推進 ○資機材の備蓄</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	